

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2024年9月分)

2024年10月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH憲法裁判所によるRS選挙法の無効化決定\(19日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[ボスニア紛争の記念戦車設置\(16日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[歴史教育カリキュラムをめぐる反応\(4日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[コナコビッチ外相及びシュミット上級代表のブレッド戦略フォーラム出席\(2日～3日\)](#)

●[クリシュト閣僚評議会議長のブリュッセル訪問\(19日\)](#)

●[コナコビッチ外相のNY訪問・国連総会出席\(21日～27日\)](#)

●[ベチロビッチ大統領評議会議長の国連総会一般討論演説\(25日\)](#)

(2) 二国間関係

●[プレンコビッチ・クロアチア首相のBH訪問\(4日～5日\)](#)

●[オーストリア司法大臣のBH訪問\(13日\)](#)

●[ブジェビッチ・セルビア首相のRS訪問及びセルビア閣僚のRS訪問\(26日～30日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[鬼太鼓座による和太鼓コンサートの開催\(20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH憲法裁判所によるRS選挙法の無効化決定(19日)

19日、BH憲法裁判所は、RS選挙法は国家機関から権能を奪うものであり、BH憲法及びBH選挙法に違反しているとして、RS選挙法を無効化する旨決定を下した。同法は本年4月にRS国民議会が採択、7月に発効したが、ズビズディッチBH下院第一副議長(ボシュニャク系)の訴えを受けて、BH憲法裁判所が違憲性の判断を行っていたもの。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ボスニア紛争の記念戦車設置(16日)

16日、ボスニア紛争中のBH共和国軍(ボシュニャク系)の戦いを記念し、サラエボ第二高校前の公園に戦車が設置された。今般の設置は退役軍人協会の主導のもと行われたもので、本件については、2016年以降継続的に議論され、住民の反対等により延期が繰り返されていたものであるが、最終的にカリッチ・サラエボ市長が許可を行い実現。しかし、依然として学校付近に戦車を設置することや、兵器そのものの展示が紛争のトラウマを呼び起こさせる可能性を指摘し反対する団体もある。

イ スルブスカ共和国(RS)

●歴史教育カリキュラムをめぐる反応(4日)

RS政府が新たに発表した9年生(日本の中学3年生に相当)向け歴史教育カリキュラムにおいて、ボスニア紛争を「祖国防衛戦争」と称し、「RS及びRS軍の成立の背景及び意義を理解し、最も重要な軍事作戦及びその目的を説明し、RS軍の構成と主要な司令官の氏名を述べられるようになること」が指導目標とな

っている点につき、戦争犯罪人として裁かれた人物を英雄視する教育が行われる懸念があるとして、ボシュニャク系が強く反発している。ベチロビッチBH大統領評議会議長は、シュミット上級代表に対してボン・パワーを行使し、RS教育大臣の解任を行うよう求めた。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●コナコビッチ外相及びシュミット上級代表のブレッド戦略フォーラム出席(2日～3日)

2日～3日、コナコビッチBH外相及びシュミット上級代表はスロベニアで開催されたブレッド戦略フォーラムに出席した。

コナコビッチ外相はパネルディスカッションに登壇。周辺国(ロシア)の影響による不安定化及びEU加盟プロセスの遅延の危険を指摘しつつ、経済的にも欧州市場との統合の必要性を強調したほか、ダウティー英外務・英連邦・開発省次官と会談。また、ユーゴスラビア諸国(スロベニア、北マケドニア、セルビア、クロアチア)各外相、欧州統合相等と会談し、旧ユーゴスラビアからの国有財産の承継に関して意見を交わした。

シュミット上級代表は、クロアチア、スロベニア各国首脳、外相、ピーチ英西バルカン特使等と会談した。

●クリシュト閣僚評議会議長のブリュッセル訪問(19日)

19日、クリシュトBH閣僚評議会議長は西バルカン各国首脳とともにブリュッセルを訪問し、フォン・デア・ライエン欧州委員長とのワーキング・ランチに出席した。ランチではEUによる西バルカン成長計画に関し意見が交わされた。

西バルカン成長計画に関しては、各国が改

革アジェンダを策定しEUに提出する必要があるが、BHは一部項目での合意ができず、提出が完了していない状況。9月17日にはクリシュト閣僚評議会議長が現在の合意状況に関する文書をEUに提出した旨発言したが、依然アジェンダに関する合意はできていない。また、クリシュト議長がEUに文書を提出したことについて、ドディックRS大統領及びコシヤツ BH副首相兼通商・経済関係大臣は激しく批判している。

●コナコビッチ外相のNY訪問・国連総会出席 (21日～27日)

21日～27日、コナコビッチBH外相は国連総会出席のためNYを訪問。本年5月のスレブレニツァ決議の履行の呼びかけやパレスチナ連帯等に係るマルチ会合への出席及びパレスチナ自治政府新首相、ラトビア外相、マルタ外相、カサノフ米国務次官補代理(西バルカン担当)等との会談を実施した。

●ベチロビッチ大統領評議会議長の国連総会 一般討論演説(25日)

25日、ベチロビッチBH大統領評議会議長(ボシュニャク系メンバー)は国連総会にて一般討論演説を実施。BH国家の目標としてNATO加盟を挙げ、本年5月のスレブレニツァ決議にも言及しつつ、ボスニア紛争を「侵攻」と表現し、本年6月の全セルビア人会議等を背景にセルビア系による領土的野心の脅威について指摘する等、ボシュニャク系としての立場を強く打ち出した演説となった。

(2)二国間関係

●ブチッチ・セルビア大統領のRS訪問(2日)

2日、ブチッチ・セルビア大統領はRSのスタナリ市を訪問し、セルビア政府の支援により建設された「セルビア診療所」の開所式に出席した。ブチッチ大統領はメディアの取材に応じ、

ボシュニャク系の一部がセルビア系の批判ばかり行っていると批判しつつ、セルビアとしてRS及び地域の発展を支援する建設的な政策を取ると強調した。

●プレンコビッチ・クロアチア首相のBH訪問 (3日～4日)

3日～4日、プレンコビッチ・クロアチア首相がBHを訪問。サラエボにおいてクリシュト閣僚評議会議長、モスタルにおいてチョービッチHDZ党首とそれぞれ会談したほか、5cコリドー高速道路の「ヘルツェゴビナ」橋(ポチテリ付近)を含む区間の開通式に出席した。プレンコビッチ首相はBH国営放送のインタビューにおいて、改めてBH選挙法の改正によるクロアチア系の「正当代表」選出実現の重要性を指摘し、コムシッチ現大統領評議会クロアチア系メンバーの正当性を名指しで否定したほか、欧州人権裁判所のBHに関する諸判決を「政治的理由で人工的に作り出されたもの」と発言し、ボシュニャク系から批判を受けた。

●オーストリア司法相のBH訪問(13日)

13日、ザディッチ・オーストリア司法相(BH出身)がBHを訪問。ブノザBH司法相と会談した。ザディッチ司法相は、BHがEU加盟プロセスに向けた改革の勢いを維持しているとして高く評価し、オーストリアとしてBHのEU加盟を強く支持すると改めて強調した。

●ブチェビッチ・セルビア首相のRS訪問及び セルビア閣僚のRS訪問(26日～30日)

26日、ブチェビッチ・セルビア首相は、セルビア・RS間の「特別並行関係協定」締結18年の機会にRSを訪問し、ドディックRS大統領と会談したほか、BH北部のスルパツにてセルビアの支援にて建設された幼稚園の開園式に出席。また、セルビア・RS間の協力関係の発展・強化に係る特別な功績及びRSの存続、

発展に対する特別な貢献に対しRS最高勲章（リボン）を授与された。

ブチェビッチ首相はデイトン和平合意の尊重を述べつつ、セルビアからRSへの支援の継続及びセルビア民族の団結、セルビア系の利益保護、ボシュニャク系との対話を呼びかけた。

なお、ブチェビッチ首相の訪問を皮切りに、ロンチャル保健相（27日）、ジュルジェビッチ＝スタメンコブスキ家族福祉・人口統計相及びジャリッチ＝コバチェビッチ行政・地方自治大臣（29日）がそれぞれRSを訪問しており、BH統一地方選挙（10月6日）を前に閣僚の訪問が活発化した。

（3）日・BH関係

●鬼太鼓座による和太鼓コンサートの開催（20日）

20日、サラエボ市内において、在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館主催、日本たばこインターナショナル（JTI）の協力により、埼玉県を拠点として活動する創作和太鼓集団「鬼太鼓座（おんでござ）」によるコンサートが開催された。

公演に先立ち、杵渚駐BH大使はJTIの協力を感謝を表すと共に、鬼太鼓座のパフォーマンスが当地で8年ぶりに行われることを嬉しく思う旨述べ、ダイナミックで力強い和太鼓演奏を楽しんでほしいと述べた。

また、翌日にはサラエボ大学音楽アカデミーにおいて、鬼太鼓座及び三味線奏者のYUZU氏による和太鼓・三味線レクチャー及びワークショップが開催された。



（写真：公演及びワークショップの様様）

3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2024年8月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比4. 3%のマイナス。また、昨年同月比2. 8%のマイナス。

●雇用／失業率

2024年7月の失業者登録数は32万8, 675人(うち女性19万4, 846人)で、前月比で1%プラス、前年同月比で6. 2%マイナス。

●平均給与

2024年7月の平均給与(手取り)は1, 395 KMで、前年同月比で10. 6%のプラス。

●消費者物価指数

2024年8月の消費者物価指数は前月比0. 5%のプラス。また、前年同月比で平均1. 3%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比1. 4%のプラス。

●貿易収支

2024年1月～8月のBHからの輸出総額は105. 24億KM(前年同期比6. 3%減)、BHへの輸入総額は189. 48億KM(前年同期比3. 6%増)。貿易収支は84. 24億KMの赤字。

●旅行客数

本年7月にBHを訪れた旅行客数は24万792人であり、昨年同月比で13. 6%増加、前月比で17. 9%増加した。

旅行客の主な出身国はサウジアラビア(21. 5%)、トルコ(11. 3%)、セルビア(6. 9%)、クロアチア(5. 7%)、ポーランド(4%)、ドイツ(3. 9%)、米国(3. 2%)、スロベニア(3%)、UAE(2. 9%)。

(2)経済政策・公共事業

●「ヘルツェゴビナ」橋の開通(4日)

4日、BHからクロアチアへ向かう5cコリドー高速道路のうち、ヘルツェゴビナ橋(旧称ポチテリ橋)を含むポチテリ～ズビロビチ区間の開通式が行われた。当区間の建設プロジェクトは2019年6月に署名が行われ、中国企業による建設が行われていたもの。当区間の完成により、既に開通しているメジュゴリエ～ビリャチャ区間とクロアチア側の道路が接続されることとなる。開通式にはプレンコビッチ・クロアチア首相も出席した。

●モスタル-ベオグラード便の運航継続(5日)

エア・セルビア社はモスタル空港との間での定期便運行に係る新たな契約を締結。本年運航を開始したモスタル-ベオグラード便につき、2025年10月まで運航を継続することを決定した。モスタル-ベオグラード便は日・月・金曜の週3回運航する予定。

本年、モスタル空港は旅客数が昨年比で倍増しており、特にベオグラード便は最も利用者数が多く収益を上げている。

(3)経済協力

●トルコ企業とBH政府の会合(5日)

5日、Yapi Merkezi Insaat 社等、インフラ事業に従事するトルコ企業の関係者がBHを訪問し、フォルトBH通信・運輸大臣、ニクシッチBH連邦首相、ディズダルBH連邦難民大臣等と会談。トルコ企業側は特にBHでの鉄道建設に強い関心を示し、現在までに世界各地で実施したプロジェクトについての説明を行った。

ニクシッチBH連邦首相は、BHにおいては鉄道の再建の需要が強く認識されていると述べ、協力に対して前向きな姿勢を明らかにした。

(4)民間セクター

●ポルシェ小売・サービスセンター開業(19日)

19日、サラエボ郊外のブラジュイにポルシェ小売・サービスセンターが新たに開業した。ポルシェグループが28カ国に展開する店舗の中で最大規模となり、販売店と修理等のサービスセンターを併設している。ポルシェ・サラエボは2023年に1600台を売り上げており、新たな店舗の開業によりさらなる業績の向上が目指されている。